

送りがなプリント はってん①(て・たの かたち) なまえ _____

小6／うごく ことばの て・た形(4／5)

ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい おいもを むして たべる。

れい しゅくだいは もう すんだ。

蒸 して

済 んだ

考え方

れい1

れい2

① もとの かたちにもどす

むす

すむ

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

↓

蒸す

↓

済む

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

↓

蒸して

↓

済んだ

線の ことばの かたちになるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なくした くつを みんなで さがしている。

(2) あさ はやく せんたくものを ほした。

探 _____

干 _____

(3) おさらを きれいに ならべていく。

(4) きょうは かさを いえに わすれた。

並 _____

忘 _____

(5) いない かみを ごみばこに すてた。

(6) しろい ぬのを あかく そめた。

捨 _____

染 _____

(7) くびに マフラーを まいて でかける。

(8) かばんを ロッカーに あずけた。

巻 _____

預 _____

(9) コップを うっかり わった。

(10) てを せっけんで あらって から たべる。

割 _____

洗 _____

(11) つかれた ので ベンチに すわった。

(12) ともだちを いえに よんで あそぶ。

座 _____

呼 _____

できたら:こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みになるか たしかめよう。

